

2025年6月3日
関東鉄道株式会社

— 環境と走る、新時代の関鉄バス — 「関東鉄道新型EVバス4両導入」 6月9日より順次運行開始！

今回導入する一般路線用大型EVバス



関東鉄道株式会社（本社：茨城県土浦市 代表取締役社長：登嶋 進）は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大型路線バスタイプのEVバスを新たに4両導入いたします。

今回導入するEV路線バスは、BYD製K8 2.0型（大型電気バス・ノンステップバス）で、1回の充電による航続可能距離は約240km、軽油やガソリンを一切使わない「二酸化炭素等排出ゼロ」の環境にやさしい車両です。災害時には電源供給車としても活用できます。

従来のEVバス（K8 1.0型）と比較し、より薄く、大容量化したブレードバッテリーを採用したことで室内がフルフラット仕様となり、航続可能距離も向上しました。また、EDSS（ドライバー異常時対応システム）を搭載し、乗務員に体調不良等の異常が発生した際、運転席及び客席上部に設置された非常停止スイッチを押すことで制動が開始され、徐々に速度を落として停止することができます。

今回の車両導入により、当社のEVバスは合計11両となります。今後も環境に配慮したエコロジーバスの導入を積極的に推進してまいります。

記

1. 車両概要

- (1) 車種 BYD製 K8 2.0型 (大型EV路線バス・ノンステップバス)
- (2) 車長・車幅・車高 車長 10.5m×車幅 2.495m×車高 3.27m
- (3) 乗車定員 81人 (座席 22+跳上席 4+立席 54+運転席 1)
- (4) 航続距離 約 240km (フル充電をした場合)
- (5) その他 災害時、電源共有車として使用可能
EDSS (ドライバー異常時対応システム) を導入



EDSS (ドライバー異常時対応システム)

2. 導入車両数 4両

3. デザイン

- (1) デザイナー 蓮見 孝氏 (筑波大学名誉教授)
岸本 健氏 (デザイナー)

(2) 概要

「だれにでも受け入れられる、人と社会にやさしいバス」をテーマに、当社の現行路線バスの青色を基調にした配色を継承しながら、すっきりと明るい明緑色のエコロジーカラーのラインでまとめました。SDGs 目標「7. エネルギーみんなにそしてクリーンに」「13. 気候変動に具体的な対策を」を念頭に、環境に配慮し、持続可能な未来社会を目指す姿勢を込めたデザインです。



4. 運行地域

- (1) 水戸営業所管内 (水戸市・茨城町・小美玉市・石岡市など)
- (2) 土浦営業所管内 (土浦市・つくば市・阿見町など)
- (3) つくば中央営業所管内 (つくば市・土浦市・取手市・牛久市など)
- (4) 守谷営業所管内 (守谷市・取手市・つくばみらい市・常総市・坂東市など)

5. 運行開始

2025年6月9日 予定

以 上